



国営開発不耕作農地に 薬草栽培を

大垣照子 議員

町長 中山間地センター等と連携し
栽培面積を増やしたい



問 国営開発農地の畑地
総面積がhaのうち、約30
haが不耕作地だが、この
解消に薬草栽培を。
答 3年前から健康食品
会社と地元のMOHKGに
よる甘草やアカメガワシ
の試験栽培をしている。
アカメガワシは、良好
な栽培結果が出ており、
大手企業の需要に対し県
と連携し対応する。本町
の気象や土壌に見合う適
作農産物を生産していく。

問 町内には、自生して
いる薬草もあり採取し試
験栽培や研究する考えは。
答 研究開発には多額な
費用を要し、中山間地セ
ンターや地元企業と連携
し栽培面積を増やしたい。
行政運営について、
同一施策における議会
答弁と町政座談会での執
行部説明が異なっていた。
町の行財政の執行権者と
してどう考えるか。
答 議会答弁等に誤りが
なきよう執行部一同努め
ている。言い間違い、読
み間違い、記憶違い等判
明時には、断りし訂正し
ている。今後もそのよう
に対応したい。

問 本会議や委員会での
質問に「後ほど答弁」がま
まある。これについても、
必ず本会議や委員会の場
で答弁を、でなければ記
録に残らず、答弁したこ
とにならない。
縦割り行政をやめ庁内
各課の連携により、住民
ニーズにこたえるサービ
ス提供への指導は。
答 様々な意見、要望、
指摘をもらい、関係課室
にて適切な対応・回答を
するよう指導している。
町民に信頼される職員で
あるよう、課室長を遣い
再発防止の周知徹底と情
報共有、連携強化を図る
ことを指示している。

問 病人は、常に安心し
て治療ができる環境が大
事。奥出雲病院では物置
同然の病室に、患者さん
を入院させるという事が
あった。その部屋が必要
なら物を片付けてからに
すべき。なぜこんなこと
になったのか、患者サイ
ドに立った対応を。
答 内田病院事務長
病院スタッフの誤りは、
空き部屋がなく、そのよ
うな部屋に入っていたた
い事実があった。今後、
このような事がなきよう
話し、大変申し訳なか
ったと思っている。
問 家族は、退院後の諸
対応に苦勞している。奥
出雲病院にソーシャルワ
ーカーの配置を。
答 2人配置し包括支援
センターや福祉施設等と
連携し、療養上の不安軽
減に努めている。
問 2人もいて相談に乗
らないということはあり
得ない。患者は、身体も
心も弱くなっている。配
慮した対応を。
答 内田病院事務長
相談環境に留意し、指
摘をスタッフにも伝え注
意していきたい。



治療と健康維持の寄りどころ
(町立奥出雲病院)